

沖縄県の道路 — 沖縄の概要

沖縄県は、我国の最南西端に位置し、東西約1,000km、南北約400kmに及ぶ広大な海域と、点在する47の有人島を含む160の島しょから構成される離島県であります。

人口は昭和30年代から都心部を中心に急激に増加し、県土面積の約20%にあたる沖縄本島中南部に全人口の約83%が集中し、県土面積の約45%を占める離島の人口比率は約10%にすぎず、本島中南部における過密化と、離島へき地における過疎化が進んでいます。

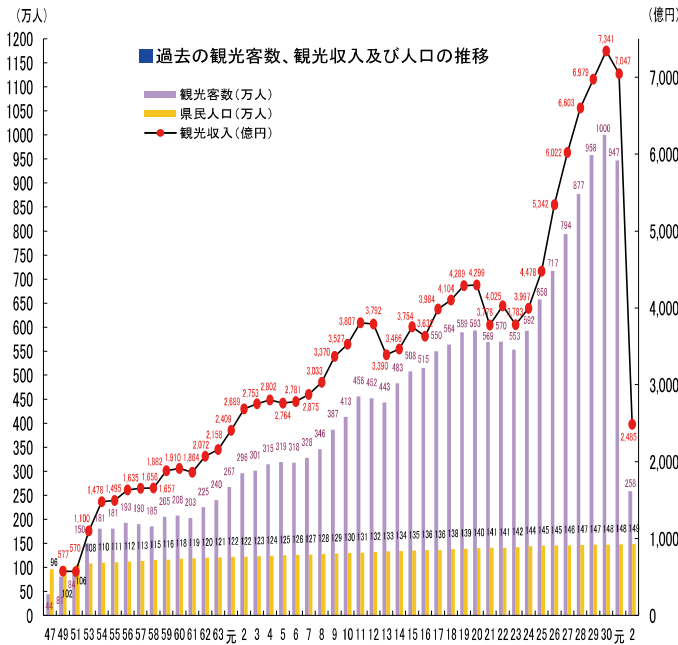
本県は、日本では唯一の亜熱帯性気候と豊かな青い海、明るい太陽のもと、古くは、「琉球」という独立国家の形態をとりながら、南方諸国や中国等との交易を通じて栄え、他県では見られない独特の琉球文化を育ててきましたが、1879

年(明治12年)の琉球処分により日本へ帰属し沖縄県が誕生しました。

第二次大戦後は米国の軍事基地としてその施政権下におかれ、1972年5月15日、本土復帰が実現し今日に至っています。

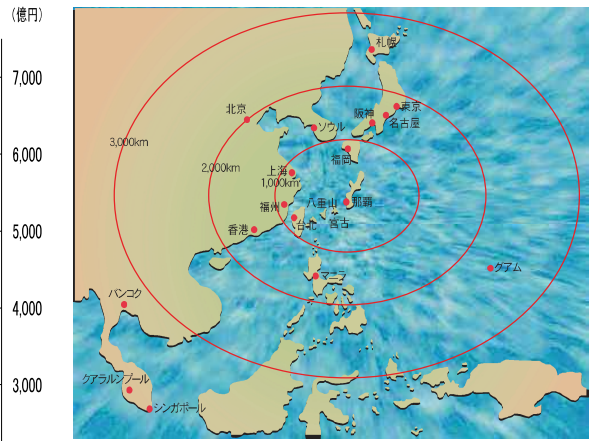
平成17年4月1日に、石川市、具志川市、与那城町、勝連町がうるま市、平成17年10月1日には平良市、城辺町、下地町、伊良部町、上野村が宮古島市、さらに平成18年1月1日に佐敷町、知念村、玉城村、大里村が南城市、同日に東風平町、具志頭村が八重瀬町へそれぞれ合併し、これによって県下自治体数は、11市11町19村(令和3年4月1日現在)となりました。

沖縄の概要



過去の観光客数、観光収入及び人口の推移
 観光客数(万人)
 県民人口(万人)
 観光収入(億円)

出展：入域観光客数、観光収入：県観光政策課「令和2年版観光要覧」
 観光収入については統計手法の変更により、昭和51年から平成13年以前については遡及修正する。
 また、平成17年度までは暦年の数値、平成18年度以降は年度の数値となっている。
 県民人口：県市町村課「住民基本台帳人口(R3.3.1現在)」



順位	名称	面積(km ²)	人口	順位	名称	面積(km ²)	人口
1	沖縄本島	1,208.47	1,353,107	11	多良間島	19.81	1,099
2	西表島	289.62	2,116	12	渡嘉敷島	15.31	723
3	石垣島	222.24	49,848	13	伊是名島	14.13	1,354
4	宮古島	158.54	49,781	14	波照間島	12.73	496
5	久米島	59.53	7,656	15	北大東島	11.91	567
6	南大東島	30.52	1,257	16	黒島	10.02	233
7	伊良部島	29.07	4,995	17	下地島	9.68	90
8	与那国島	28.82	1,697	18	小浜島	7.86	722
9	伊江島	22.76	1,175	19	屋我地島	7.82	23
10	伊平屋島	20.66	1,109	20	粟国島	7.62	689

出展：人口：県市町村課「島しょ別住民基本台帳人口及び世帯数(R3.1.1現在)」
 ;面積：国土地理院「令和3年全国都道府県市区町村別面積調(R4.1.1時点)」
 ※ 屋我地島の人口は沖縄本島を含む

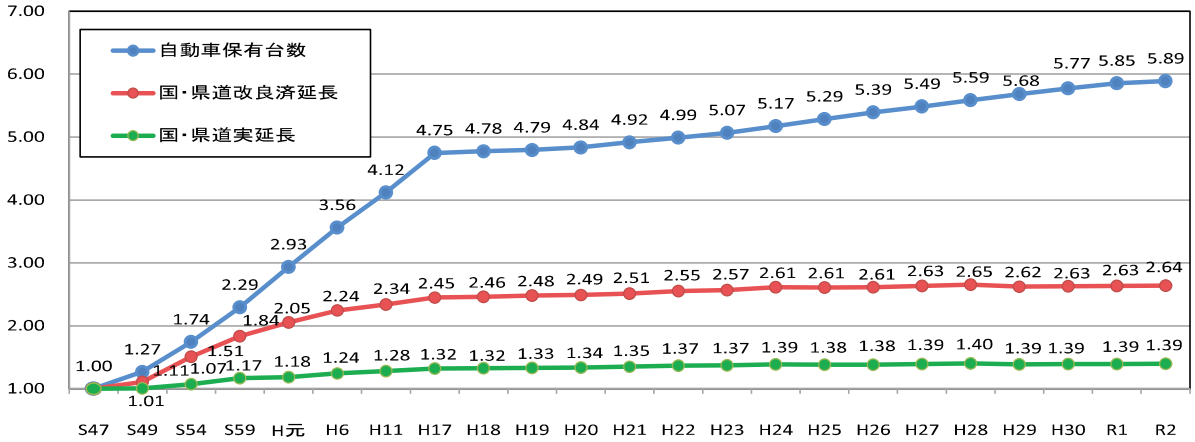
市町村勢一覧

(単位) 人口：人、世帯数：世帯、面積：km²、人口密度：人/km²

市郡名	人口	世帯数	面積	人口密度	市郡名	人口	世帯数	面積	人口密度
県計	1,485,484	676,643	2,282.16	651	うるま市	125,338	54,472	87.02	1,440
市部計	1,146,976	529,449	977.27	1,174	宮古島市	55,577	28,370	203.90	273
那覇市	320,467	155,427	41.42	7,737	南城市	44,924	18,634	49.94	900
宜野湾市	100,462	45,984	19.80	5,074	郡部計	338,508	147,194	1,304.71	259
石垣市	49,848	25,270	229.15	218	国頭郡	65,057	31,511	577.26	113
浦添市	115,548	51,494	19.44	5,944	中頭郡	159,222	66,635	107.28	1,484
名護市	63,724	30,792	210.94	302	島尻郡	107,129	45,092	234.87	456
糸満市	62,349	27,337	46.60	1,338	宮古郡	1,103	520	22.00	50
沖縄市	142,973	64,380	49.72	2,876	八重山郡	5,997	3,436	363.30	17
豊見城市	65,766	27,289	19.34	3,401					

出展：県市町村課「令和3年住民基本台帳人口・世帯数(R3.1.1現在)」、国土地理院「令和3年全国都道府県市区町村別面積調(R4.1.1時点)」

■道路改良と自動車保有台数の伸び率比較



出典：1. (自動車保有台数)は、沖縄総合事務局陸運事務所「業務概況(令和3年版)」 2. (改良延長、実延長)は、国土交通省「道路統計年報(令和2年3月31日時点)」

道路の状況

■全国・沖縄道路の普及率比較

道路統計年報(2021年版) 令和2年3月31日現在

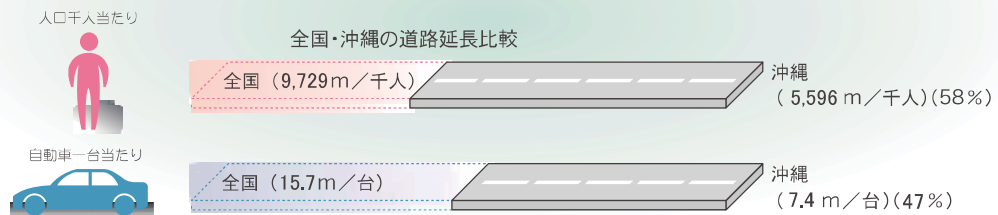
道路種別	全国	実延長		改良済延長		舗装済延長		人口千人当り		人口千人当り		人口千人当り		車千台当り		車千台当り		面積km ² 当り		整備済延長		
		km	(A)	km	(B)	km	(C)	延長	全国	延長	全国	延長	全国	延長	全国	延長	全国	延長	率	(B)	B/A	
高速自動車国道	全国	9,050.3	9,050.3	100.0	9,050.3	100.0	72	100.0	72	100.0	72	100.0	115	100.0	115	100.0	115	100.0	24	100.0	-	-
	沖縄	57.3	57.3	100.0	57.3	100.0	39	54.5	39	54.5	39	54.5	51	44.6	51	44.6	51	44.6	25	104.8	-	-
一般国道(指定区間)	全国	23,897.2	23,894.3	100.0	23,879.8	99.9	189	100.0	189	100.0	189	100.0	305	100.0	305	100.0	305	100.0	63	100.0	15,410.5	64.5
	沖縄	326.9	326.9	100.0	326.9	100.0	223	117.6	223	117.7	223	117.7	293	96.3	293	96.3	293	96.3	143	226.5	177.8	54.4
一般国道(指定区間外)	全国	31,928.4	28,031.5	87.8	28,236.1	88.4	253	100.0	222	100.0	224	100.0	407	100.0	358	100.0	360	100.0	84	100.0	22,403.5	70.2
	沖縄	174.0	168.3	96.7	164.4	94.5	119	46.9	115	51.6	112	50.1	156	38.4	151	42.3	148	41.0	76	90.2	153.2	88.0
一般国道	全国	55,825.6	51,925.8	93.0	52,115.9	93.4	442	100.0	412	100.0	413	100.0	712	100.0	662	100.0	665	100.0	148	100.0	37,814.0	67.7
	沖縄	500.9	495.2	98.9	491.3	98.1	341	77.2	338	82.0	335	81.1	450	63.1	445	67.1	441	66.3	219	148.6	331.0	66.1
主要地方道	全国	57,891.2	46,154.0	79.7	44,017.0	76.0	459	100.0	366	100.0	349	100.0	738	100.0	589	100.0	561	100.0	153	100.0	37,174.0	64.2
	沖縄	407.4	377.1	92.5	388.1	95.3	278	60.5	257	70.3	265	75.8	366	49.5	338	57.5	348	62.1	178	116.5	298.1	73.2
一般都道府県道	全国	71,865.7	45,816.9	63.8	41,959.7	58.4	570	100.0	363	100.0	333	100.0	917	100.0	584	100.0	535	100.0	190	100.0	38,666.7	53.8
	沖縄	669.8	595.7	88.9	577.0	86.1	457	80.2	406	111.8	393	118.3	601	65.6	535	91.5	518	96.8	293	154.3	497.4	74.3
都道府県道計	全国	129,756.9	91,970.9	70.9	85,976.7	66.3	1,028	100.0	729	100.0	681	100.0	1,655	100.0	1,173	100.0	1,097	100.0	343	100.0	75,840.7	58.4
	沖縄	1,077.2	972.8	90.3	965.1	89.6	734	71.4	663	91.0	658	96.5	967	58.4	873	74.4	866	79.0	472	137.4	795.5	73.8
市町村道	全国	1,032,789.5	617,014.2	59.7	203,327.1	19.7	8,186	100.0	4,890	100.0	1,612	100.0	13,173	100.0	7,870	100.0	2,593	100.0	2,732	100.0	614,182.8	59.5
	沖縄	6,573.5	4,285.7	65.2	2,719.8	41.4	4,481	54.7	2,921	59.7	1,854	115.0	5,901	44.8	3,847	48.9	2,441	94.1	2,879	105.4	4,264.9	64.9
計	全国	1,227,422.3	769,961.2	62.7	350,470.0	28.6	9,729	100.0	6,103	100.0	2,778	100.0	15,655	100.0	9,820	100.0	4,470	100.0	3,247	100.0	727,837.5	59.3
	沖縄	8,208.9	5,811.0	70.8	4,233.5	51.6	5,596	57.5	3,961	64.9	2,886	103.9	7,369	47.1	5,216	53.1	3,800	85.0	3,596	110.7	5,391.4	65.7
沖縄シェア		0.7	0.8		1.2																	0.7

(注)面積は、「全国都道府県市区町村別面積調」(国土交通省国土地理院)(令和2年10月1日現在)による。人口は、総務省統計局「人口推計」による数値である(令和2年10月1日現在)。自動車保有台数は、「自動車保有車両数」(国土交通省自動車局自動車情報課)(令和元年度末)による。改良済延長で国道、県道は5.5m以上、市町村道は5.5m未満を含む。舗装済延長は簡易舗装を除く。単位未満を四捨五入したため、数値が合致しない場合がある。

●道路延長

本県は、陸上交通のほとんどを道路に依存していることから、道路整備が県民生活や産業活動に与える影響は極めて大きく、重点的に整備を推進しています。

しかし人口、自動車台数当たりの道路延長は全国平均の約5~6割程度と低く、増加する交通需要や高速性、快適性等高度化、多様化する利用者のニーズに対応するには、なお一層の体系的な整備とその質的向上が必要です。



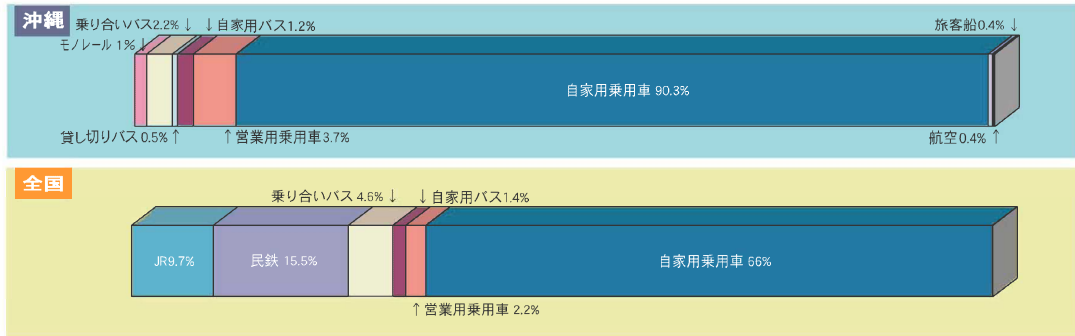
注) 高速自動車国道を含む全道路延長

資料：道路統計年報(2021年版)

1. 機関別旅客輸送分担率の比較(域内量)

全国では、全旅客輸送(域内)のうち約3割を鉄道で分担していますが、本県では、陸上交通のほとんどを自動車に依存しており、道路の役割は重要です。

特に自家用乗用車の分担率は年々上昇を続け、平成21年度には約9割となっています。



資料：「平成21年度 旅客地域流動調査」

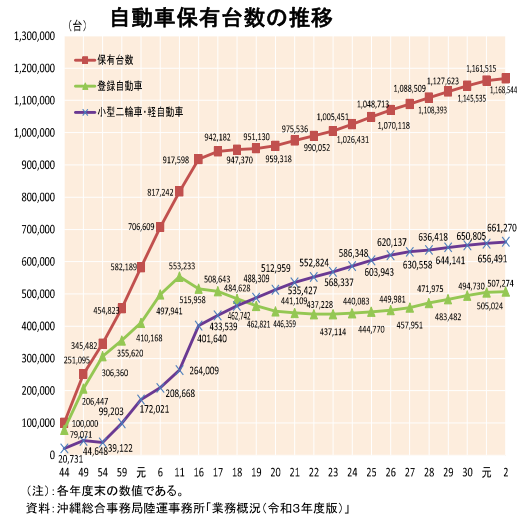
2. 自動車保有台数

県内の自動車保有台数は年々上昇を続け、復帰時の昭和47年度に比べ、令和2年度末には5.6倍となり、一世帯に約1.6台になりました。

自動車三輪以上の保有率

	項目	S47年度末	R2年度末	伸び率
沖縄	自動車保有台数 (千台)	198	1,109	5.60
	人口 (千人)	981	1,485	1.51
	世帯数 (千世帯)	237	677	2.86
	人口一人当たりの保有台数 (台/人)	0.20	0.75	3.70
	一世帯当たりの保有台数 (台/世帯)	0.84	1.64	1.96
全国	自動車保有台数 (千台)	21,547	78,315	3.63
	人口 (千人)	107,332	126,654	1.18
	世帯数 (千世帯)	29,577	59,497	2.01
	人口一人当たりの保有台数 (台/人)	0.20	0.62	3.08
	一世帯当たりの保有台数 (台/世帯)	0.73	1.32	1.81

資料：1. (人口、世帯数)は、総務省自治行政局「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(令和3年1月1日現在)」による。
2. (自動車保有台数)は、一般財団法人 自動車検査登録情報協会「統計情報 都道府県別・車種別自動車保有台数(令和3年3月末)」による。

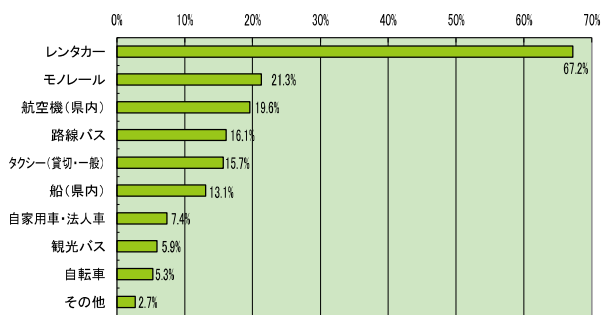


資料：沖縄総合事務局陸運事務所「業務概況(令和3年度版)」

3. レンタカーの状況

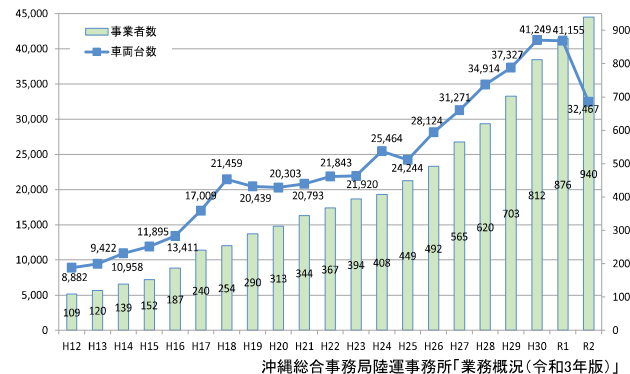
沖縄を訪れた観光客の移動手段はレンタカーが最も多く、また、レンタカー事業所の推移を見ると毎年増加傾向にあり、令和2年度には940事業所(営業所含む)、許可車両台数32,467台となっています。平成12年度と比べて比較すると、事業所数で約8.6倍(831事業所増)、車両台数で約3.7倍(23,585台増)となっています。

利用交通機関



資料：令和2年度観光統計実態調査

レンタカー事業所数及び許可車両台数の推移



沖縄総合事務局陸運事務所「業務概況(令和3年版)」

4. 交通量 (平成27年度全国道路・街路交通情勢調査より)



国道58号 (那覇市松山)

沖縄本島における幹線道路の交通量は図示の状況です。
那覇市を中心とする中南部で多くなっており、混雑度も高く道路網や交通容量の不足が原因と思われる交通渋滞が発生しています。

(数値は、24時間自動車類交通量(台/24h)、括弧は混雑度を示す。)

交通の状況

混雑度 交通量に対する交通容量の比
(=交通量/交通容量)

<<混雑度の目安>>

【1.0未満】

昼間12時間を通して、道路の混雑がなく、円滑に走行できる

【1.0~1.25】

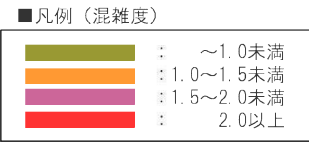
昼間12時間のうち道路が混雑する可能性のある時間帯が1~2時間(ピーク時)である

【1.25~1.75】

ピーク時間を中心として混雑する時間帯が加速度的に増加する可能性が高い状態

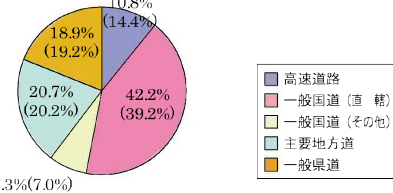
【1.75以上】

慢性的混雑状態を呈する



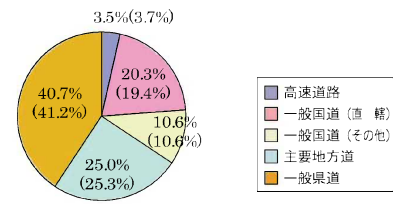
自動車交通分担

・自動車交通量の53%を高速道路及び一般国道(指定区間)で分担している。



自動車交通分担(走行台キロ)

※走行台キロ
自動車走行距離(交通量×延長)の総和(道路交通需要を示す。)



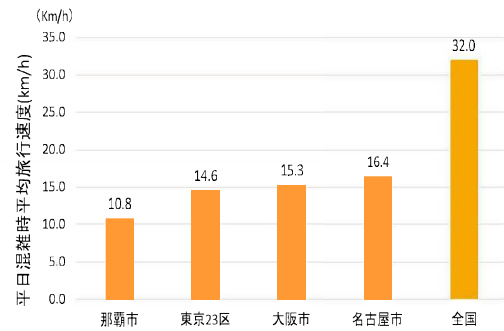
道路別延長割合
() 書はH22センサスの数値

5. 渋滞状況

三大都市圏と同等の渋滞状況

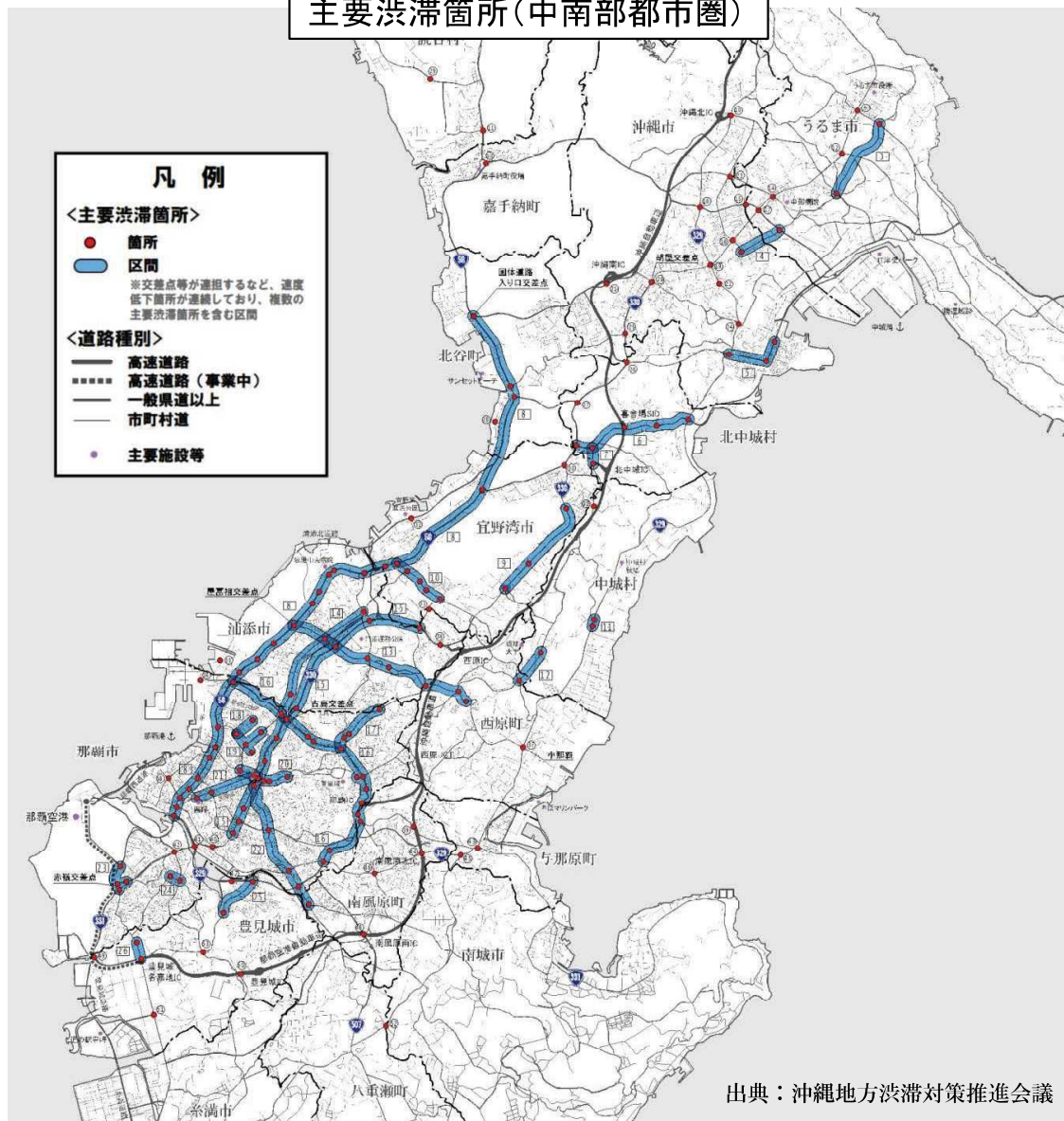
那覇市における道路混雑時の旅行速度は、東京23区などの三大都市圏と同等の低い水準となっています。

沖縄県の厳しい道路交通渋滞の緩和・解消を図るため、「沖縄地方渋滞対策推進協議会」において関係機関が協力し、対策の検討・実施を推進しています。



出典：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査（2015）より作成

主要渋滞箇所(中南部都市圏)



出典：沖縄地方渋滞対策推進協議会